

<b>Course number</b>		U-LAS06 20031 LJ43					
<b>Course title (and course title in English)</b>		統計リテラシー Literacy of statistical data		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Part-time Lecturer,KANEKO JIHEI	
<b>Group</b>		Humanities and Social Sciences		<b>Field(Classification)</b>		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
<b>Language of instruction</b>		Japanese		<b>Old group</b>		Group A	
				<b>Number of credits</b>		2	
<b>Number of weekly time blocks</b>		1		<b>Class style</b>		Lecture (Face-to-face course)	
				<b>Year/semesters</b>		2024・First semester	
<b>Days and periods</b>		Wed.4		<b>Target year</b>		All students	
				<b>Eligible students</b>		For all majors	
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>最近の日本では，消費者物価指数やGDP速報に対する正確性に対して，政治の側面からも疑念が呈され，経済統計の見直しも進みつつある．</p> <p>このような動きは，統計（資料）を抜きにして社会・経済の現状を認識したり，政策を立案・評価したりすることが不可能であり，信頼できる統計が求められていることを示している．</p> <p>本講義では，主な統計資料を事例として取り上げ，社会・経済の現状を認識する手段としての統計資料の作成方法を説明し，統計資料による社会認識の意義と限界について概要を講義する．</p> <p>講義を通じて，統計資料を批判的に検討しつつ，統計資料によって社会・経済の現状を把握する力を養成することを目的とする．</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
統計資料を利用する際の基本的なポイントについて理解し，統計資料を誤用せず適切に使用することができるようになる．							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
1．統計資料とは何か 2. 国民経済計算とGDP 3. GDPデフレーターと消費者物価指数 4. 国際収支統計 5. 金融と財政の統計 6. 人口統計 7. 雇用と貧困の統計 8. 統計作成の歴史と統計資料の分類 9. 統計の作成過程 10．統計の信頼性（知りたいことと，わかること） 11．統計の標本誤差と非標本誤差 12. まとめ （各トピックにつき、1-2回の授業を行う予定である）							
<b>[Course requirements]</b>							
None							
-----							
Continue to 統計リテラシー(2)							

## 統計リテラシー(2)

### [Evaluation methods and policy]

定期期末試験の成績によって評価を行う。

### [Textbooks]

教科書は使用しない。適宜、プリントを配布するが、欠席者には追加配布は行わない。

### [References, etc.]

(References, etc.)

御園謙吉ほか『よくわかる統計学II経済統計編 第2版』(ミネルヴァ書房) ISBN:978-4623061129

### [Study outside of class (preparation and review)]

常日頃から新聞やマスコミ、インターネット等に掲載されている統計資料に関心を持つとともに、講義で取り上げた統計資料については可能な限りインターネットや統計書で調べることを求めます

### [Other information (office hours, etc.)]

数理統計学の講義科目ではありません。